

地方の情報化の現状

2007 MAY 10

東北芸術工科大学 松村 茂

家庭の情報化の傾向(7年前)

1. 情報家電 (ホームネットワーク)
2. デジタルテレビ・デジタル放送
3. 家庭の通信環境 (インターネットの普及)
4. デジタルAVの普及
5. モバイル環境
6. ホームサーバ

この間の製品

- ✿ ハードディスク音楽プレイヤー
 - ✿ iPod 発売 2001年11月
- ✿ ハードディスクレコーダ (普及機2002年)
- ✿ ハードディスクビデオカメラ (普及機2004年)
- ✿ 任天堂DS (2004年)
- ✿ 携帯電話
- ✿ 電子マネー(2000年)
- ✿ カーナビゲーション(2002年頃本格化)
- ✿ デジタルカメラ
- ✿ ロケーションフリー、appleTV(2007年)

電子マネー

- ❁ **Edy 2000年本格実施**
- ❁ **Suica 2001年開始**
- ❁ **Pasumo2007年開始**
- ❁ **ナナコ2007年開始**
- ❁ **ワオン2007年開始**

この間の変化

- ❁ マルチメディア化
 - ❁ デジタルコンテンツの共有
- ❁ 家庭電化機器のネット化
- ❁ 高齢者の情報化
- ❁ 自動車を含めた家電機器のネット化
 - ❁ カーナビゲーション

ブロードバンド提供状況

人口カバー率 (%)

市町村	BB				BBなし
	BB合計	ADSL	光	CATV	
県平均	91	98	38	30	9
山形市	98	95	79	76	2
米沢市	98	94	61	95	2
鶴岡市	98	94	68	0	2
酒田市	97	97	54	0	3
温海町	56	56	0	0	44
戸沢村	55	0	0	0	45
舟形町	54	54	0	0	46
真室川町	53	53	0	0	47

ブロードバンド提供状況

人口カバー率 (%)

市町村	人口カバー率
県	
山形市	99
米沢市	97
鶴岡市	99
酒田市	99
大蔵村	70
小国町	67
金山町	62
真室川町	62

課題

- ❁ 若年層や企業の流出が懸念される。
- ❁ 平成の大合併で情報化によるサービスの向上が求められる。
- ❁ 高齢者はPC、Web、各種アプリケーション等を使いこなせず、ICTを理解できない。
- ❁ PCやインターネットを設置できる人が少ない。
- ❁ 高齢者と若年層との情報化に対する認識ギャップが大きい。

課題

- ✿ 高齢者の日常の行動範囲は狭く、インターネットや携帯電話との接触が少ない。利便性を知らない。
- ✿ 一方、都市部へ通学・通勤する層は利便性をよく知っている。

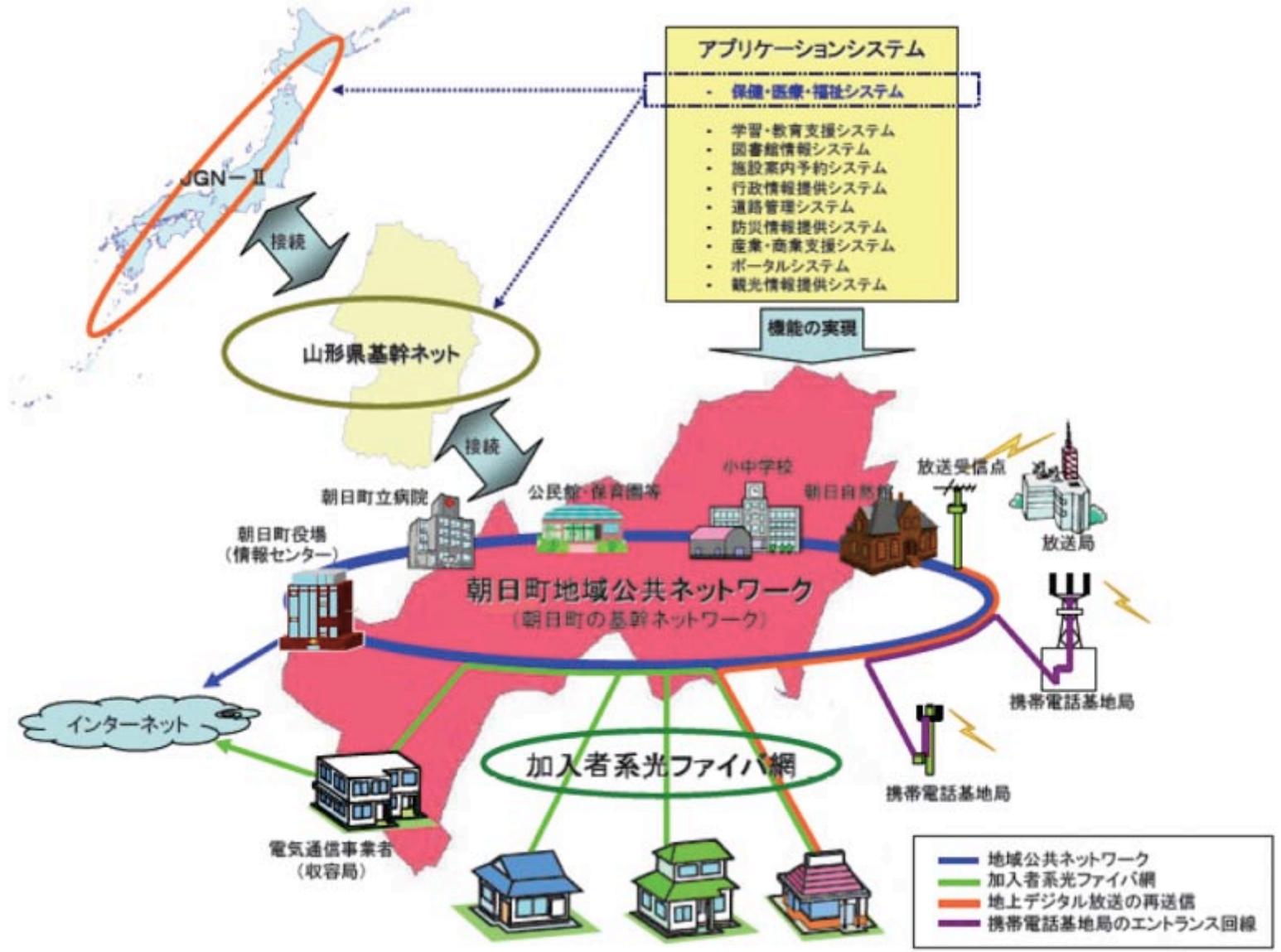
情報化の認識

- ✻ 高齢者にとり”情報化”=”機械化”であり、必要性をあまり認識していない
- ✻ 情報化への拒絶反応、人間的対応を求めている

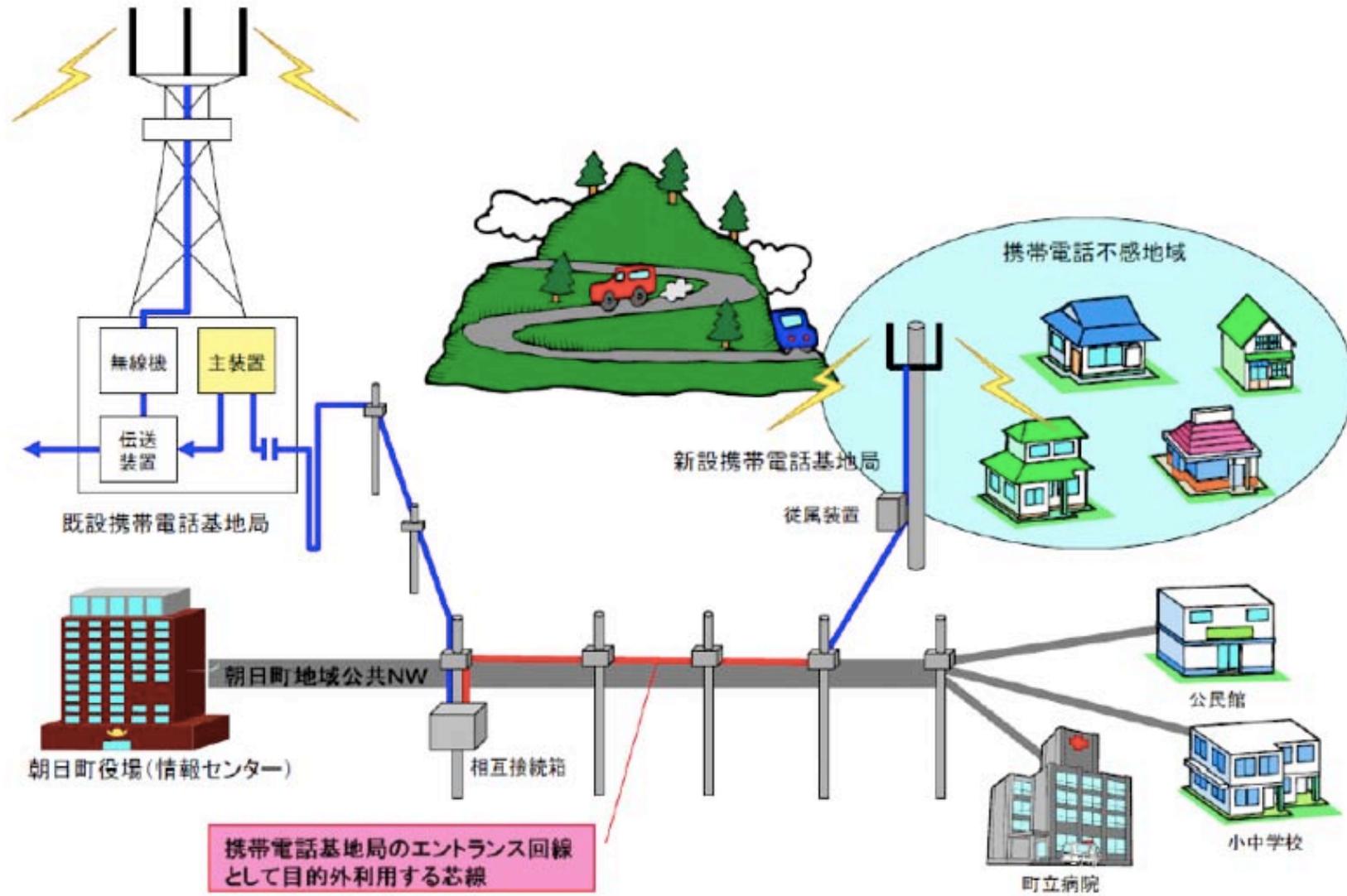
対策

- ✻ インターネットのブロードバンド化
 - ✻ 若年層や企業の流出防止
- ✻ デジタルテレビ放送の難視聴地域対策
 - ✻ 地方テレビ放送（地方情報）の確保
- ✻ 携帯電話不感地域の解消
 - ✻ 観光の推進

【情報通信ネットワーク利用環境の全体像】



【携帯電話基地局への地域公共ネットワーク開放イメージ】



地方の情報化の方向

- ❁ **高齢者にとり”情報化”=”機械化”**
- ❁ **情報化への拒絶反応、人間的対応を求める**
- ❁ **情報化は”置き換え”ではなく、”新しいサービスの追加・増補”であることを強調。**
- ❁ **“情報化”とは言わず、”情報共有化”**
- ❁ **”地域情報化”→”地域内情報共有化、福祉医療情報提供”で、理解を得ることが大切。**

地方のICT普及のためのポイント

～家庭の情報化のために～

- ❁ **BBの整備**
- ❁ **日常的なWebアプリケーションの開発**
 - ❁ **遠隔医療関連のアプリケーションの充実**
 - ❁ **防災防犯・安心関連のアプリケーション**
 - ❁ **食の安全・健康ニーズを意識したニッチ市場向け個人ビジネスの促進**

地方の情報化の特徴

- ✿ 自動車保有率が高い
- ✿ 3世代家族が多い
- ✿ 自然環境がよい。
- ✿ 平成の大合併への対応。
 - ✿ 行政サービスの改善
 - ✿ 医療・福祉・防災・安全に関するリアルタイムの情報提供

- ✻ ブロードバンド
 - ✻ ADSL意外に手段がない
- ✻ ADSL
 - ✻ 生活エリアは広く収容局から遠い地域は多数
- ✻ 携帯電話
 - ✻ エリアが居住地域中心で観光地や山岳エリアが不感地域。観光的にマイナス。

- ✻ 地上デジタル

- ✻ 難視聴地域には共同受信設備が必要

- ✻ 共同受信設備のデジタル化対応が必要。

検討すべき課題

- ✿ 高齢者にとり”情報化”=”機械化”
- ✿ “情報化”とは言わず、”情報共有化”
- ✿ ブロードバンドの普及
- ✿ 高齢者等に配慮されたインターフェイスの開発
- ✿ 高齢者等に有益な新しいサービスの開発
- ✿ 脱過疎化・UJターン者の受け入れのためのビジネス開発

検討すべき課題

- ✻ **ブロードバンドの普及**
 - ✻ **民間の努力、行政による回線の敷設**
 - ✻ **光ファイバーの敷設**
 - ✻

SOHO

- ※ HO:home office は、起業家が自宅をオフィスにしてビジネスを行うスタイルと、インターネットの普及によって、

SOHO

- ✻ 弁護士などの士ビジネス、医師、小説家等の著述業、画家や写真家などの芸術家、芸能人やフリーアナウンサー、プロスポーツなど幅広いが、SOHO事業者は、ICTを主に使ったプログラマーやデザイナーなどを言っているが、明確な区分はない。

多様な働き方

- ❁ 労働市場の流動化（個人請負の方向）
 - ❁ 個人事業
 - ❁ スモールカンパニー
 - ❁ 事業グループ
 - ❁

技術向上による可能性 拡大

- ✿ さまざまなデジタル化によって、インターネットを介して多くの情報をやり取りできるようになった。
- ✿ 直接顔を合わせずにできる仕事の種類は増えている。

個人事業の課題

- ✿ 事業創造力の不足
- ✿ 下請け的構造
 - ✿ ブランド不要
- ✿ 営業の難しさ
 - ✿ 差別化の難しさ
 - ✿ ダンピング要素
- ✿ 信用力向上

今後の可能性

- ✻ 住宅を広く
- ✻ 会議システムの発展・普及
- ✻ NPOや地域での活動
- ✻ 移住による新しいビジネス
- ✻ アフィリエイト（無償コンサルタント）
- ✻ ドロップ SHIPPING
- ✻ 超ニッチ化
- ✻ 食の安全・手作り・自家栽培